

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	星野富弘子どものための花の詩画展 in 富士見町
事業主体 (連絡先)	星野富弘子どものための花の詩画展を開く会 実行委員会 諏訪郡富士見町落合10777番地
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,084,990円 (うち支援金: 1,500,000円)

事業内容

新型コロナによる感染拡大による影響で行事等が縮小し寂しい思いをしている子どもたちに明日への希望をもってもらうことを期待し星野富弘花の詩画展を開催。

- ・星野富弘花の詩画展 in 富士見町: 4/22~5/28
- ・スプラカイトツアー (植栽ボランティア): 6/10
- ・小中高等学校による総合学習 (詩画展見学・講演会)



【詩画展オープニングセレモニーの様子】

事業効果

- ① 支援金を活用して、星野富弘花の詩画展 in 富士見町を開催。期間中 5,062 人の来場者があった。そのうち高校生以下の来場者は 2,121 人だった。
- ② 詩画展開催期間中に植栽ボランティアの周知を行った。入笠山の山野草への関心が高まり、目標を超える 141 人の参加者があった。また展示会終了後の公募展にも 21 点の応募をいただいた。
- ③ 諏訪地方及び北杜市教育委員会の後援を受け、それぞれの学校において教育課程に組み込んで総合学習による見学を実施した。星野さんの心温まる詩画に触れることで、生きる希望を持っていただくためのきっかけとなったことと、市町村の枠を超えた新たな連携による取組ができた。また、町内の高校と中学校では富弘美術館館長による講演会を実施し作品の理解を深めた。

【目標・ねらい】

- ① 多くの子どもたちに明日への希望醸成
- ② ボランティア活動による関心向上と公募展への応募
- ③ 近隣市町村との連携と総合学習

今後の取り組み

富弘美術館との太いパイプを構築できたことで、12月に開催される星野富弘花の詩画展(さがみはら)から、オープニングセレモニーに招待されることとなった。令和5年最初に富弘展を開催した富士見町と最後に開催する相模原市ということから今回の招待に至ったものであるが、これを機に今後も連携を発展させていきたい。また、美術館の公募展に町内より中学生や一般の方から応募があったことで、詩画展が終了したあとも、ひきつづき美術館とつながりをもった事業が進められているため、一過性に留まらずに今後も継続した活動として公募展への応募を続けていきたい。

※自己評価【A】

【理由】

- ・高校生以下の来場者が 2,000 人を超えた。
- ・近隣市町村との連携に加え相模原市との連携につながった。
- ・美術館の公募展に中学生と一般町民からも応募があった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある